

印西都市計画地区計画の決定（印西市決定）

都市計画小林北二丁目地区地区計画を次のように決定する。

名 称	小林北二丁目地区地区計画
位 置	印西市小林北二丁目の一部の区域
面 積	約 0 . 9 h a
地区計画の目標	<p>本地区は、ＪＲ成田線小林駅の北口にあり、大規模な開発行為により計画的な住宅地としての土地利用及び施設整備が行われた小林北地区に位置している。</p> <p>本地区の周辺には戸建住宅を中心とした住宅地があり、良好な市街地が形成され、ＪＲ成田線が東西に走る交通の利便性の高い地区である。</p> <p>本地区に地区計画を導入することにより、周辺住宅地との調和に配慮すると共に、良好な都市環境の形成及び保全を図ることを目標とする。</p>
区域の整備、開発及び保全に関する方針	<p>本地区は、ＪＲ成田線小林駅の北口に隣接するという立地条件を生かし、良好な都市環境の形成を図るために、「土地利用の方針」、「地区施設の整備の方針」及び「建築物等の整備の方針」を定める。</p> <p>■土地利用の方針 本地区は、低層の住宅を主体としつつ、駅前という立地条件を生かし、良好な都市環境の形成を図る。</p> <p>■地区施設の整備の方針 本地区には、開発行為により道路等の地区施設が一体的に配置されるため、その機能が損なわれないよう維持及び保全を図る。</p> <p>■建築物等の整備の方針 地区計画の目標等を踏まえ、良好な都市環境を形成するため、「建築物の敷地面積の最低限度」、「壁面の位置の制限」、「建築物等の高さの最高限度」、「建築物等の形態又は意匠の制限」及び「垣又はさくの構造の制限」を定める。</p>

地区整備計画書

地区整備計画	建築物区分	地区の名称	駅前地区
		地区の面積	約 0.9 ha
	建築物敷地面積の最低限度		165㎡ ただし、市長が公益上必要な建築物で用途上又は構造上やむを得ないと認めて許可したものについては、この限りでない。
		壁面の位置の制限	道路境界線から建築物の外壁又はこれに代わる柱の面までの後退距離は、 1. 2m以上とし、道路境界線以外の敷地境界線から建築物の外壁又はこれに代わる柱の面までの後退距離は、1m以上とする。 ただし、この限度に満たない距離にある建築物が、次のアからウまでのいずれかに該当する場合はこの限りでない。 ア. 出窓、バルコニー及び外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3m以下のとき。 イ. 附属建築物であって、物置その他これに類する用途に供し、軒の高さが2.3m以下で、かつ、床面積の合計が5㎡以内のもの ウ. 附属建築物であって、車庫その他これに類する用途に供し、軒の高さが2.8m以下で、かつ、床面積の合計が8㎡以内のもの
	建築物等の高さの最高限度		10m
	建築物等の形態又は意匠の制限		建築物等の形態又は意匠は、次に掲げるとおりとする。 (1) 建築物等の屋根、外壁その他外から望見される部分の色は、中間色を基調とし、彩度、明度が極端に高い又は低い色彩、蛍光色等の使用並びに刺激的な装飾及びデザインにより周辺環境の美観風致を損ねるものは避ける。 (2) 本地区計画の都市計画決定時に本地区計画区域を対象にした開発行為により計画された地盤面の高さを変更してはならない。ただし、敷地の出入口、自動車車庫、物置等の建築並びに作庭のために必要な最低限度の変更についてはこの限りでない。
	垣又はさくの構造の制限		道路境界線に面する部分の垣又はさくは原則として生垣とする。生垣以外とする場合は、安全に配慮した構造のもので、地盤面からの高さは2m以下とし、その上部半分以上を開放性のあるフェンス等とする。ただし、門扉、門柱及び高さが1m以下のものについては、この限りでない。

「計画区域、地区整備計画区域及び地区の区分は、計画図(地区整備計画図、地区区分図含む)表示のとおり」
理由 本地区計画区域が住宅用地として整備されることに伴い、適正な市街地整備の誘導並びに将来にわたり良好な都市環境及び魅力的な街並みの形成を図るため本地区計画を決定する。

